

名称：急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内のPCI 実施割合

指標番号：

QIP: 2082

年度：2014, 2016, 2018

更新日：2018-09-21

指標群：循環器系疾患

名称：急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内のPCI 実施割合

意義：プロセス指標

必要データセット：DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約：

分母：18 歳以上の急性心筋梗塞でPCIを受けた症例数

分子：分母のうち、来院後90分以内に手技を受けた件数

指標の定義算出方法：

分母の定義：

1：

解析期間に退院した症例を対象とする。

2：

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I210	前壁の急性貫壁性心筋梗塞
I211	下壁の急性貫壁性心筋梗塞
I212	その他の部位の急性貫壁性心筋梗塞
I213	急性貫壁性心筋梗塞，部位不明

3：

このうち、EF ファイルより以下のPCI を入院日もしくは翌日に1回以上受けたケースを対象とする。

分母のデータ3

レセ電コード（診療行為コード）	名称	手術点数コード	2010	2012	2014	2016	2018
150374910	経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞）	K5461			○	○	○
150375010	経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症）	K5462			○	○	○
150375110	経皮的冠動脈形成術（その他）	K5463			○	○	○
150375210	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞）	K5491			○	○	○
150375310	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症）	K5492			○	○	○
150375410	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	K5493			○	○	○

4：

このうち、各ケースにつき様式1の生年月日、入院年月日より入院時年齢を求め、18 歳以上のケースのみ対象とする。

5：

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義：

1：

分母のうち、入院日もしくは翌日に下記が算定された症例数。

## 分子のデータ1

レセ電コード（診療行為コード）	名称	手術点数コード	2010	2012	2014	2016	2018
150374910	経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞）	K5461			○	○	○
150375210	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞）	K5491			○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

2014年度データ以降のみ算出。ST上昇型の心筋梗塞症例を分母とすることが望ましいが、非ST上昇型の心筋梗塞症例が分母に含まれると指標値が低く算出される可能性がある。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21